

平成28年度予算で行う 主な事業をチェックしましょう。

平成28年度予算は総合計画に示された地域の将来を実現させるためのもの。
基本政策1～5を柱にして事業に取り組めます。

基本政策

1

生命を守り生き生きと 暮らすことができるまちづくり

まち全体の耐震化・救急医療体制の強化・ 本庁舎の建替え

- 民間建築物の耐震化の推進
- 救急隊増隊に向けた救急救命士の養成
- 災害時の拠点となる本庁舎等建替えの取組



川崎市役所本庁舎 検討イメージ

防犯対策の推進

- 路上喫煙・客引き行為等の防止に向けた取組
- 防犯灯の維持・管理支援
- 防犯カメラの設置支援

総合的なケアの推進

- 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- 障害者通所事業所の整備(川崎区開所)
- 介護サービス基盤の整備

健康寿命の延伸に向けた取組

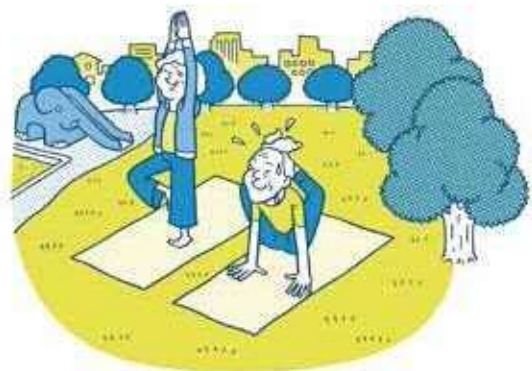
- がん検診の受診率向上に向けた取組
- かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

コンパクトで暮らしやすいまちづくり

- JR南武線の駅アクセス向上に向けた取組

協働により、心がつながるコミュニティづくり

- 障害者の就労支援
- 動物を通じていのちの大切さを伝える取組



子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

待機児童解消の継続

- 認可保育所受入枠の拡大(1,605人の受入枠拡大と保育所23か所増)
- 地域型保育事業による受入枠の拡大(141人の受入枠拡大)
- 一時保育事業の充実(59か所→64か所)
- 認可外保育施設への支援
- 病児・病後児保育施設の運営
- 幼児教育の推進
- 保育士確保対策
- 29年度に向けた整備(1,390人分の受入枠拡大と保育所等 計30か所増)



小児医療費助成制度の充実

- 小児医療費の助成(通院助成の対象小学校2年生まで→小学校3年生まで)

子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり

- 地域における身近な相談・支援の充実
- 就学援助費の支給・就学事務の適正執行
- 児童支援コーディネーターの専任化

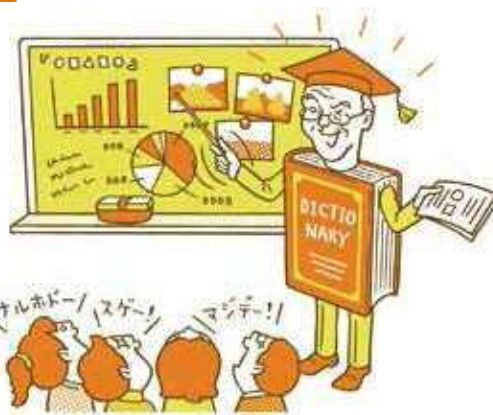


中学校完全給食導入に向けた取組

- 安全・安心で温かい中学校完全給食の早期実施に向けた取組

地域の寺子屋の推進

- 地域の寺子屋の開講(17か所→35か所)



「分かる」授業の実現に向けた取組など教育改革の推進

- 学校図書館の充実(7校→14校)



市民生活を豊かにする 環境づくり



緑と水の循環形成

- 多摩川の魅力を活かす取組の推進
- 農地の保全・「農」とのふれあいの推進



安定的な廃棄物処理体制の構築

- 資源化処理の推進
- ごみの適正かつ安定的な焼却処理
- 処理施設の安定的な運営及び建替えの実施



等々力硬式野球場
完成予定イメージ

スポーツ・文化芸術の振興

- 等々力硬式野球場の整備

活力と魅力あふれる 力強い都市づくり



JR川崎駅北口自由通路 完成予定イメージ

川崎駅周辺の整備

- JR川崎駅北口自由通路の整備

小杉駅周辺の整備

- 小杉町2丁目地区コンベンション施設の整備



幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

- 京浜急行大師線の連続立体交差化の推進
- JR南武線の連続立体交差化に向けた取組

臨海部の活性化

- 国際戦略拠点の形成・マネジメント
- 羽田連絡道路の整備

水素社会の実現

- リーディングプロジェクトの実施

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

- 大会に向けた取組の推進

国際化に対応したイノベーションの推進

- ライフ・グリーン・ウェルフェアイノベーションの推進
- オープンイノベーションの推進
- Wi-Fi環境の整備などICT施策の推進



誰もが生きがいを持てる 市民自治の地域づくり

協働により、心がつながるコミュニティづくり

- 多様な主体による協働・連携のしくみづくり
- 地域コミュニティ活性化に向けた町内会・自治会の支援



社会保障・税一体改革に係る本市の取組

高齢化や現役世代の減少などの社会経済状況の変化を踏まえ、社会保障の充実・安定化と財政の健全化を同時に達成するため、**平成26年4月から消費税率が8%への引上げをはじめとする「税制抜本改革」が実施されました。**消費税率の引上げ分については、全て社会保障の充実・安定化に向け、「年金・医療・介護・子育て」の4分野に使うこととされています。

消費税率8%への引上げによる
本市の28年度予算における増収見込額

約98億円

財源として活用

社会保障の充実の 主な取組

子育て支援
の充実



地域包括
ケアシステム
の構築

